



む こ の し ょ う

武庫庄



尼崎市立武庫庄小学校
学校だより

令和8年4月16日

ムコノショウ 庄 プラスI

～今日より明日を良くする心を創る 「明日はできる」今日に挑戦!!～

小さな「できた」を東ねて。意欲の春、全開!!

校庭の桜が若葉へと姿を変え、爽やかな春風が吹き抜ける季節となりました。

始業式、そして入学式から早いもので2週間が経過しました。新しい環境に緊張気味だった子どもたちの表情も、今ではすっかり和らぎ、学校には元気な挨拶と明るい笑顔が戻ってきています。

私事ですが、毎朝、我が子を駅まで車で送るのが日課となっています。車内に流れるラジオのBGMは、一日の始まりに「よし、今日も頑張ろう」とやる気を与えてくれる、私にとっての大切なスイッチです。また、このわずかな時間は、慌ただしい日常の中で我が子と唯一、じっくりと語らいが持てる貴重な場でもあります。何気ない会話の中から子どもの成長を感じたり、時には悩みに耳を傾けたりするひときは、親としての私にとっても大きな活力となっています。

学校で子どもたち一人ひとりと向き合う際も、ご家庭で大切に育まれている「かけがえのない宝物」をお預かりしているのだという責任を、毎朝の車中で改めて噛み締めています。

さて、学校に目を向けると、この2週間で子どもたちの「挨拶」と「学ぶ姿勢」が一段と輝きを増してきたことを嬉しく思います。廊下で交わされる「おはようございます!」という気持ちのよい挨拶は、相手を思いやる心の表れであり、その響きに私自身も日々パワーをもらっています。また、学びの場である教室では、新しい学年への意気込みが満ちています。ピンと背筋を伸ばして集中して話を聞く姿や、自分の考えを丁寧にノートへまとめる姿が当たり前の風景となってきました。こうした学習規律がしっかりと整ったことで、教室には「安心感」という土壌が生まれています。その土壌があるからこそ、子どもたちの内側にある「知りたい」「やってみたい」という瑞々しい意欲が、芽吹いた若葉のように、より鮮明に、より力強く私たちの目にも届くようになっていきます。

こうした落ち着いた環境を基盤として、一人ひとりの向上心をさらに伸ばしていきたいと考えています。

まもなく迎える5月は、新しい学級での「絆」を深め、学習や行事に本格的に取り組むまさに「飛躍」の時期です。この1か月で整えた生活のリズムを基盤に、5月は「できた!」という小さな成功体験を一つひとつ積み重ねていくことを大切にしていきます。一人ひとりが自分なりの目標を掲げ、たとえ壁にぶつかっても粘り強く挑戦できるよう、教職員一同、歩みを揃えて支援してまいります。一方で、連休を挟むこの時期は、新しい環境への適応による疲れが出やすい時期でもあります。心身の緊張をふっと解きほぐすのは、やはりご家庭での温かな時間です。私が車中でのひときは大切にしているように、皆様のご家庭でも「朝の語らい」やゆったりとした休息を大切にしていいただければ幸いです。心身ともに充実した状態で、子どもたちがさらに一歩前へ踏み出せるよう、引き続き温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。